

西部小通信 11月②



手話教室

先月10月19日（金）2校時、篠原利夫先生をお招きして開催しました。今



年で17年連続（第1回の6年生は現在27～8歳）の伝統行事です。篠原先生は鏡西部小学校をととても大切に思ってください、今年も運動会に弁当持参でお越しの上、フォークダンスにもご参加くださいました。86歳7か月の先生が台の上で時間いっぱい熱のこもった指導をされるのを拝見し、お元気なお姿に感動いたしました。これからもずっと、本校の手話教室をお引き受けいただきたいと思います。



くまもと環境出前講座

これも先月22日（月）5校時、県の環境立県推進課の林田参事に来校していただき、3～6年生を対象に「干潟と藻場の重要性と水のお話」をしていただき



きました。学習する中で、海は身近にあるのに、子どもたちは、あまり親しんでいないことが分かりました。ふるさと熊本を誇りに思う気持ちを高め、自分たちの未来を守る決意をすることができました。



理科支援員

同じく先月23日（火）、本年度2回目のご指導に、宮崎尚生（たかお）先生に



お越しいただきました。低学年の生活科のおもちゃづくりの授業では、おもちゃの紹介に子どもたちは大興奮でした。3・4年生は理科室の使い方を教えていただき好奇心を高め、6年生は水溶液の性質を調べる授業で、実験の仕方について基礎をきちんと教えていただきました。



小体連球技大会

最後まで先月の話題ですが、30日（火）は小体連ブロック別球技大会でした。

5年生の行事で種目はソフトバレー、Eブロックは千丁・

鏡地区の小学校で今年も文政小に集まって競技しました。大きな学校は自分たちのクラスを更に分けてチームを作りますが、西部小の二人（岩崎康平君欠席）は有佐小の3チームに一人ずつ入れてもらって「有佐・西部」という合同チームにしてもらいました。4試合



楽しくゲームをし、交流を深めました。鏡の4小も千丁小もみんな、話を聞く姿勢もプレーするときの態度も良く、2年後、鏡中、千丁中に進んでからも、よきライバルとして競い合っていけるような楽しい集団だと思いました。